

議案第5号

職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

上記の議案を提出する。

令和2年6月12日

提出者 墨田区長 山 本 亨

職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例

職員の特殊勤務手当に関する条例（平成10年墨田区条例第51号）の一部を次のように改正する。

第3条第2項中「160円」を「720円」に改める。

付則に次の3項を加える。

（新型コロナウイルス感染症に係る保健衛生業務手当の特例）

- 5 保健所に勤務する職員が、新型コロナウイルス感染症（新型コロナウイルス感染症を指定感染症として定める等の政令（令和2年政令第11号）第1条に規定する新型コロナウイルス感染症をいう。）から区民等の生命及び健康を保護するために緊急に行われた措置に係る業務であって、規則で定めるものに従事したときは、保健衛生業務手当を支給する。この場合において、第3条の規定は適用しない。
- 6 前項の手当の額は、従事した日1日につき3,000円を超えない範囲内において、規則で定める。
- 7 付則第5項の規定により保健衛生業務手当を支給する場合においては、第6条中「第3条又は第4条」とあるのは、「第3条、第4条又は付則第5項」とする。

付 則

- 1 この条例は、公布の日から施行し、この条例による改正後の第3条及び付則第5項から第7項までの規定は、令和2年1月24日（以下「適用日」という。）から適用する。
- 2 適用日からこの条例の施行の日の前日までの間において、この条例による改正前の第3条の規定により支給された保健衛生業務手当は、この条例による改正後の第

3条又は付則第5項の規定により支給する保健衛生業務手当の内払とみなす。

(提案理由)

諸般の情勢に鑑み、特殊勤務手当のうち保健衛生業務手当の上限額を改めるほか、新型コロナウイルス感染症に係る検査等の業務に従事した職員について、当該業務の特殊性を踏まえ、同手当の上限額の特例を定める必要がある。